

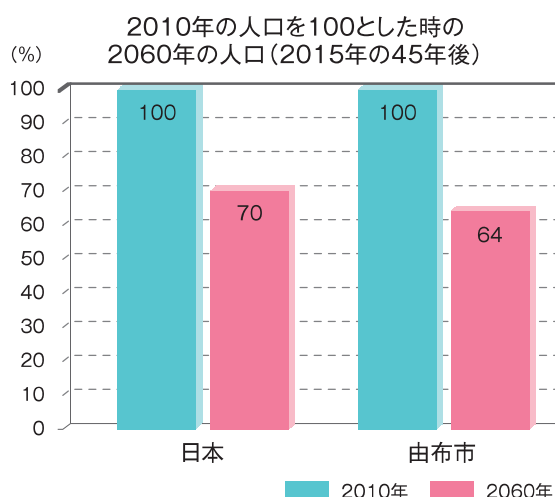
## まちづくりの課題 — 人口減少と少子高齢化の進展 —

(人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)が公表した「日本の将来推計人口(2012年1月中位推計)」によります。)

### 1 全国平均を上回る人口減少予測

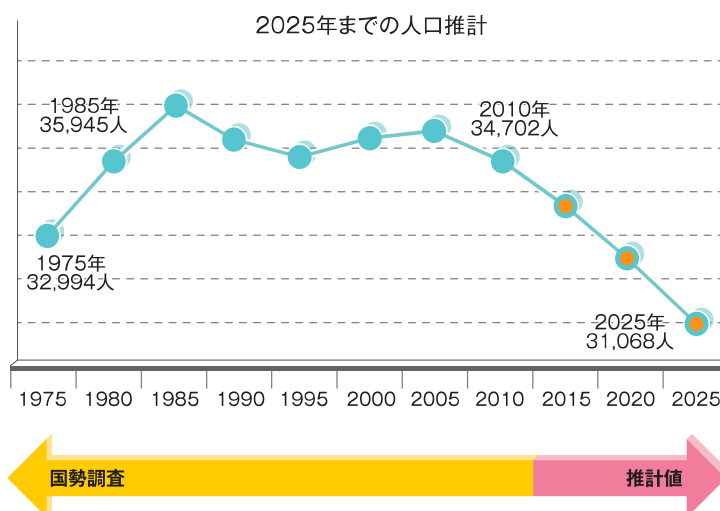
本市には、まちづくりに活かしたい資源や強みが豊富にある一方で、今後の人口動向に関しては減少傾向で推移していくことが予測されています。

長期的な人口推移では、2060年に日本の総人口は現在の約70%、本市は現在の約64%(21,475人)になると予測されており、本市は全国平均を上回る減少が見込まれています。



### 2 人口減少が本格化するこれからの10年

本計画の終了年である10年後、平成37年(2025年)の人口は、31,068人と予測されています。2005年から2015年までの10年間の減少率が4.9%である一方で、2015年から2025年までの減少率は10.5%となっており、今後本市においても人口減少が本格化することが見込まれています。持続的なまちづくりを行うにあたって、人口減少社会に対応した適切な土地利用も重要です。由布市都市計画マスタープラン<sup>①</sup>の土地利用方針に基づき、施策を実施していきます。



### 3 人口減少の主な要因

我が国の地方自治体における人口減少の主な要因は、「地域外への人口流出(転出が多く、転入が少ない)」「出生率の低下」「既婚率の低下」等が挙げられます。こうした要因への効果的な取り組みを進めるために、市内各地域の実情にあわせた、きめ細かいまちづくりを進めていくことが重要です。



用語解説 【都市計画マスタープラン】

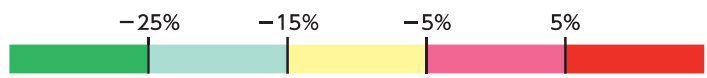
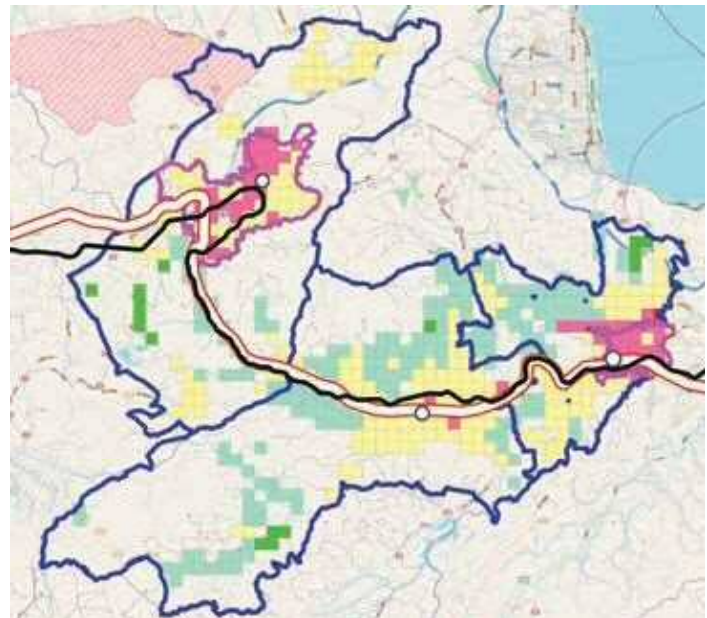
都市計画法に基づく、市町村の都市計画に関する基本的な方針のこと。

#### 4 今後 10 年間の自治区別人口減少率

湯布院地域の中心部、挾間地域の中心部では人口減少が少なく、10年後も人口が維持される地域となっています。このエリアは、都市計画区域とほぼ一致しています。

また、幹線道路である国道 210 号の沿線では全体的に微減傾向です。

市全域における幹線道路から離れた山間部、および庄内～湯布院の境界付近の幹線道路沿いの地域では、大きく減少する傾向がみられます。



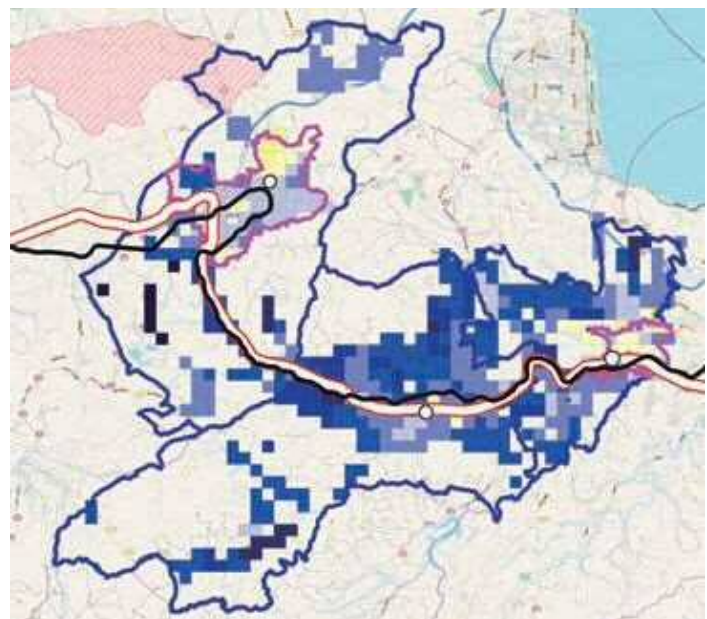
※平成26年（2015年）時点の由布市の人口を基準とする

#### 5 10年後の自治区別高齢化率

湯布院地域の中心部、挾間地域の中心部の10年後の高齢化率は、市全体平均値より低くなっています。

その周辺の地域と、国道 210 号沿いの庄内庁舎付近より挾間方面の沿線の地区では、高齢化率がほぼ平均値前後となっています。

幹線道路から離れた山間部や庄内～湯布院の境界付近に高齢化率が平均値より高い地域が集中しており、人口減少が激しいと予想される地域において高齢化率が高くなっています。



※平成26年（2015年）時点の由布市の高齢化率を基準とする

## まちづくりの目標

由布市の持つ資源や強みを活かしながら、人口減少と少子高齢化といった課題に対応していくために、第一次由布市総合計画で進めてきたまちづくりを継承し、まちづくりの目標を以下のように設定します。

# 地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市

本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、

「平成37年(2025年)の将来計画人口**32,000人**」  
を目指します。

## まちづくりの基本理念

第一次由布市総合計画の基本理念（「融和」「協働」「発展」）を発展的に継承し、「まちづくりの目標」の実現に向けた取り組み姿勢である基本理念を以下のように設定します。

### 「連携」と「協働」 「創造」と「循環」

合併直後に課題であった人と人、地域と地域の「融和」は、これまでの10年間で第一に取り組んできました。それによって築かれてきた「融和」を礎とし、今後はその次のステップとして、「連携」と「協働」、「創造」と「循環」をまちづくりの基本理念とします。

由布市内のみならず、由布市外との広域連携も含めて、様々な場面で**効果的な連携体制を構築**しながらまちづくりを進めていくことが重要です。また、行政だけでなく、市民、企業、団体など様々な主体の強みや得意分野を活かした**協働によるまちづくり**を推進することが求められています。

地域の良さや強みを認識・共有し、その多様性を活かしながら、住民が主体性を持った中で積極的な参画がなされている状況を、「地域自治を大切にした」由布市のまちづくりの姿と考えます。

さらに、そうした連携と協働によるまちづくりを進める中で、由布市の強みを活かしながら、由布市が抱える様々な社会的課題を解決していくためには、市民一人ひとりが、由布市に**「新しい価値」をもたらすような「創造的な取り組み」**を進める姿勢が求められ、市民一人ひとりによる「創造的な取り組み」が相互に連携、協働することにより由布市のまちづくりが連鎖的かつ発展的に進み、由布市の地域社会、地域経済、地域環境の持続性が高まっていくような**「まちづくりの好循環」を実現**していくことが重要です。

「連携」と「協働」により、「創造」（＝新しい価値）と「循環」（＝持続性）を生み出しながら、「地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市」に向けたまちづくりをすすめていきます。

## まちづくりの目標実現に向けた6つのテーマ

基本構想では、「まちづくりの目標」の実現に向けた取り組みを、6つの施策テーマに大別して設定しました。6つのテーマは、以下のとおりです。次ページ以降にこれらテーマごとの施策目標と施策内容を記載します。

- 地域自治や防災、コミュニティ、行財政に取り組む「みんなで進める!持続可能なまちづくり」
- 福祉や医療、健康に取り組む「一人ひとりの力を活かせるまちづくり」
- 教育や文化、子育て、人権に取り組む「人や文化を育むまちづくり」
- 産業振興や雇用創出に取り組む「経済の循環から地域が潤うまちづくり」
- 自然環境や生活環境に取り組む「豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり」
- 観光・交流推進や地域プロモーション、移住定住に取り組む「地域を知り、表現するまちづくり」

